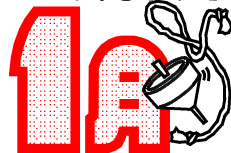


カワセミ通信



NO.18



発行：彩湖自然学習センター

発行日：H. 23. 1. 14

～新年明けましておめでとうございます～

日頃より当センターの活動に対し皆様のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。本年も戸田市の児童生徒、市民の皆様のための自然学習センターとして活動してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

さて、センターでは、年末に、「木の実を使ったリースづくり」や「凧づくり」、年始には、「春の七草がゆ」の講座を行いました。どの講座も親子での参加者が多く、皆さん楽しそうに活動していました。また、季節を感じる講座でもありました。

最近の都市化や自然環境の変化にともなって、このような季節に応じた地域での行事が減ってきています。しかし、ここ彩湖周辺は、多くの自然が残っており、四季の変化が実感できる場所です。そういった、自然環境を生かした講座や学習を行っていくことも当センターの役割だと考えております。センターでは、これからも自然の豊かさを感じ、自然の楽しさに触れられる講座を計画してまいりますので多数のご参加をお待ちしております。(T)



講座案内 (2月)



2月13日(日) **野鳥観察会** ※雨天実施

「彩湖周辺の野鳥・晩冬」

冬の野鳥観察シリーズ第4弾～晩冬編～です。彩湖で羽を休めていた冬鳥も、そろそろ北へ帰る時期。最後の見納めにいらっしませんか？野鳥観察が初めてのお子さんも、安心してご参加ください。

◇対象：一般・親子・小中学生

(小学校3年生以下は保護者同伴)

◇定員：20名

◇時間：10:00～12:00

◇持ち物：双眼鏡(貸出可)

◇参加費：100円(保険代)



☆申込方法：彩湖自然学習センターへ電話申込みか直接ご来館ください。(3階事務室)

なお、申込みは、講座の1か月前から受け付けています。TEL:048-422-9991

子イモリ飼育日記



ふ化直後の幼生(10mm) ん食べ、手足も生えてぐんぐん成長していきました。

3か月を過ぎた頃、ついにえら呼吸から肺呼吸に切り替わるイモリが出てきました。陸上生活に突入です。さあ、ここからが大変！どんな餌を…？ どうやって食べさせる…？ 試行錯誤の結果、センター内での飼育を断念し、落ち着くまで私の家で育てることにしました。ピンセットで1匹ずつ餌を食べさせる作業は骨が折れましたが、努力と愛情の甲斐あって、今ではすっかり慣れ、私の顔を見ると見つめてきたり、駆け寄ってくるほどになりました！愛嬌があって可愛い子どもたちです♪現在11匹の子イモリが育っていますが、ここでまたまた問題が。可愛い子イモリを、いつセンターに戻そうか…。そろそろ子離れの時期が迫ります。(N)



立派に育った子イモリ。
4~5cmになりました。

※イモリ…両生類のイモリは、卵からふ化後、えら呼吸で水中生活をし、陸に上がると肺呼吸になります(変態)

2月19日(土) 親子ふれあい教室 ※雨天実施

「竹細工」

道満でとれた竹を使って親子で竹細工に挑戦しませんか？道具の使い方を練習しながらコップ、貯金箱、ブンブンごまなど思い思いの作品を作ってみましょう。1本の竹でも工夫しだいでたくさんの作品が作れますよ。

- ◇対象：小学生以上の親子
- ◇定員：20名
- ◇時間：10:00~12:00
- ◇持ち物：軍手、のこぎり、小刀(貸し出し可)、
作品を入れる袋
- ◇参加費：100円(保険代)



※詳しくは彩湖自然学習センターホームページ

(<http://www.city.toda.saitama.jp/433/432448.html>)をご覧ください。